

職員からの事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和8年3月31日

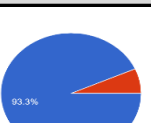
事業所名 厚木市児童発達支援センター ひよこ園
児童発達支援事業

職員数 31名 回答数 15名 回答率 48%





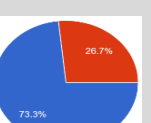
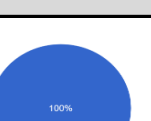
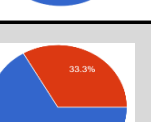
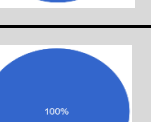
	質問	はい	いいえ		工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	9	6	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 狭さを感じる(2) PRや廊下も利用するため、廊下が狭い(2) 室内に柵の設置必要 部屋の広さに応じた利用定員ではないと感じる
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	14	1	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> ヘルプが欲しい時にも言いやすい環境(2) 子どもの状態によっては、ヘルプ職員が必要 職員の数に応じた課題設定にしている 4人体制は助かる
	3 生活空間は本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	11	4	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 各クラス子どもに合わせて工夫している 子どもの状況や活動内容により可動式衝立を活用 工事や屋上利用制限で、外活動がしにくい 避難訓練など教室から離れた際のクラス間の情報伝達取りにくい。トランシーバーなどの活用も検討必要 トイレのカーテンは子供の注意がそれる 半日クラスで大人用トイレを使用する時に不便さがある 大人用トイレに子ども用トイレ便器があると良い 療育室と事務室の距離がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	13	2	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 部屋や玩具の消毒を毎日行っている 各クラス、常に消毒液を設置 パーティションを利用し心地よい空間にできるよう工夫している パーティションや収納の工夫はあるが、手作りも多く、状態の維持が難しい 部屋が悪く、天気が分からない 始業前の福祉センターによる清掃は効果がない
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	6	9	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 適宜、PRや訓練室を使用(3) 療育室内で、衝立などで簡易的な個別スペースを区切り設定している(5) 個別スペースを作ることによって部屋が狭くなる クールダウン用の常時使える場所が欲しい(4) 職員の人員配置上、難しい
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	5	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 勤務形態や時間が異なり、業務に対する動機や意識も違う。個人に委ねられているため、もう少し全体で意識づけをして高められるとよいのではと思う 個人でしているが、管理職からの振り返りが無い 各自行うものとなっている
	7 保護者等向けの評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、業務改善につなげているか	15	0	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 会議等で周知時間が設けられている
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	10	5	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 上司との面談の場が少ない(4) 会議では言いにくい。言った人が優位になる(2) クラス職員配置は毎年変わる。問題がなくても上司と面談の機会がほしい 直談判すれば問題に関する話合いの場が設定される てんかん発作の際の当時の状況把握が数カ月後と、とても遅く、強い不信感を抱いた
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	3	01.はい 02.いいえ	
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	15	0	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 参加者は常勤職員が多く、限られている(4) 非常勤職員との意識や知識に偏りが生じたままになっている。参加が増えると良い(2) 研修を受けて終了(受けっぱなし)なので、研修報告や感想、意見の伝達の場があるとよい 現場に活かされていないと感じる 機会はあるが定時外に行われる 業務内の時間でも個別に設ける必要性を感じる(←知識不足で業務で支障が生じる危険がある) 	
適切な	11 適切にプログラムが作成、公表されているか	14	1	01.はい 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> クラスにより、バラツキがあると感じる 子どもの特性に応じた課題提供をしている

支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全体ではアセスメントの理解が低い
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解した上で子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	
	14	個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画と日々の記録がリンクしていない 記録が偏った一部の職員によるので、広い目で公正に支援が行われているかという疑問が残る 個別支援計画書、面談記録を回覧し理解を深められるようにしている
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察等も含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	
	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定された上で具体的な支援内容が設定されているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	4		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 子に合わせた対応を相談している 全体で打ち合わせる時間、職員同士で話す時間が確保できない(2) 特定の職員(リーダー)の意向や考えに偏る(3) 状況に応じてフォローし合えるといい 意見を言いにくい環境がある
	18	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事を取り入れている 常勤が考えているため、トップダウンで意見づらい雰囲気を感じる
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> クラス交流の機会は有意義だった。もっと増やせるとよい。(2) クラス全員、数人、個別での活動を組み合わせた。 現状の職員配置では難しい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 確保できないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 全員ではできない(2) 時間的に難しい(2) 各々記録を書くが、支援の内容や次回に向けて支援の留意点について全体で振り返ることは難しい 支援が上手くいかなかった時に、責められているような威圧感があり苦しくなる
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 		
23	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園等の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	3		<ul style="list-style-type: none"> 01. はい 02. いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 併行通園先がある場合は、必要に応じて、保育所等訪問支援を活用している。

関係機関や保護者との連携

27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	
28	【※28～31は児童発達線センターのみ回答】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取り組み等を行っているか	11	3		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な動きには関わっていない。また状況把握できていない。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	13	1		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> ケース会議での先生のお話がよい
30	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	2		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 参加はしていると思うが、職員全体での情報の共有が十分ではない。
31	【※31は児童発達支援事業所のみ回答】 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	0	13		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> そういった機会を設けられるといい
32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳に要する時間はあるが、問題点もこれからの課題も書くように心がけている。
33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	

保護者への説明等

34	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	
35	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	
36	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	
37	定期的に家族からの子育ての悩みに等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	
38	父母の会の活動を支援することや保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	11	4		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会を行っている（4） 兄弟同士の交流の機会は設けていない（4） きょうだい児と一緒に行事に参加できるものがあるが、あっても良い 保護者参加の活動等で、保護者同士の関係は深められていると思う
39	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	
40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対しての発信しているか	10	5		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> 手書きの連絡帳では足りていない
41	個人情報の取扱いに十分注意しているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> 01.はい 02.いいえ 	

	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	0		● 01.はい ● 02.いいえ	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	2	13		● 01.はい ● 02.いいえ	
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12	3		● 01.はい ● 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修を希望。 訓練は実際に活かされていないと感じる てんかん発作対応についての職員会議には不信感あり
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	0		● 01.はい ● 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 訓練は実際しているが、実際に考えると、事業所単独ではなく、館内の市役所部署との連携的な訓練をすることが必要。助けや協力を日頃から呼びかけて、連携できたら心強い
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	14	1		● 01.はい ● 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 痙攣あり(てんかんと診断なし)の園児についてはまだ未対応
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	0		● 01.はい ● 02.いいえ	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	14	1		● 01.はい ● 02.いいえ	
	49	こどもの安全確保に関して家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について家族に周知しているか	13	2		● 01.はい ● 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 家族からの痙攣対応の要望とマニュアルが異なる(委託バス会社のため即救急車は出来ない等)。
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	14	1		● 01.はい ● 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット=悪いという雰囲気があり、報告をしないで済ます状況がある。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	2		● 01.はい ● 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止の定期的なチェックだけでなく、具体的にどんな行動や関わりが虐待に繋がるのかを全員で考える機会が必要。 虐待疑いのある職員がいたが、対応出来る子どものみ任せ、職員同士で直接指摘することしか出来なかった。研修等の対応があると良かった。
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	15	0		● 01.はい ● 02.いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 職員によっては子どもとの手繋ぎが、手ではなく手首を掴む等がみられる。 	